

学会告知板

第41回日本眼腫瘍学会

会 期 ●2024 年 9 月 28 日(土)～29 日(日)

会 場 ●京王プラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2 丁目 2-1

Tel : 03-3344-0111

会 長 ●後藤 浩(東京医科大学臨床医学系眼科学分野)

テーマ ●マイナーの矜持

プログラム ●シンポジウム 1 : 他科との連携による眼腫瘍の診断と治療－東京医大バージョン－

「眼腫瘍の病理診断」

長尾俊孝(東京医科大学 人体病理学分野)

「深在性眼窩腫瘍の外科的治療」

伊澤仁之(厚生中央病院 脳神経外科)

「形成外科医が関わる眼部悪性腫瘍の治療」

松村 一(東京医科大学 形成外科学分野)

シンポジウム 2 : 悪性腫瘍の最新治療

「中性子補足療法(BNCT)の最新情報」

柏原大朗(国立がん研究センター中央病院 放射線治療科／先端医療開発センター

BNCT 医療開発分野(併任))

「重粒子線治療による眼部悪性腫瘍の治療の現状」

若月 優(量子科学技術研究開発機構 QST 病院)

「光免疫療法による頭頸部悪性腫瘍の治療」

塚原清彰(東京医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科分野)

学会ホームページ ●<https://convention.jtbcom.co.jp/41jssoo/index.html>

演題募集 ●一般演題を下記の要項で募集いたします。

<https://convention.jtbcom.co.jp/41jssoo/abstracts.html>

学会ホームページからのオンライン登録になります。

演題登録期間：2024 年 4 月 1 日(月)～6 月 20 日(木)

参加登録 ●オンライン登録のみとなります。

事前参加登録：2024 年 4 月 1 日(月)～8 月 8 日(木)

直前・当日参加登録：2024 年 9 月 10 日(火)正午～9 月 29 日(日)

詳細は上記第 41 回日本眼腫瘍学会ホームページにてご確認ください。

お問い合わせ先 ●第 41 回日本眼腫瘍学会 運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 内

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階

Tel : 06-4964-8869 / Fax : 06-4964-8804 / e-mail : 41jssoo@jtbcom.co.jp

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
2023 年度研究助成交付対象者決定について

2023 年度研究助成の助成金交付対象者を募集いたしましたところ、多数のご応募をいただきました。選考委員会による厳正な審査のうえ、理事会の承認を得て、下記の 7 名の方を助成金の交付対象者とすることに決定しました。

記

助成件数 7 件(1 件につき 100 万円交付)

(敬称略, 順不同)

氏 名	所 属	研 究 内 容
山下勝幸	東北大学	iPS 細胞による視神経再生：電氣的軸索誘導の応用
福田 憲	高知大学	DAMPs 制御およびバクテリオファージによるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌角膜炎の新規治療法の開発
和田伊織	九州大学	加齢黄斑変性における TNFRSF10A の役割と細胞老化への影響
古泉英貴	琉球大学	強膜をターゲットとした中心性漿液性脈絡網膜症の最適治療確立
石田 晋	北海道大学	糖尿病網膜症における GDF15 の病態関与
忍足俊幸	千葉大学	Natural compounds の終末糖化産物 (AGEs) 誘導網膜神経細胞死に対する保護作用の検討
長岡泰司	旭川医科大学	糖尿病による網膜神経血管連関障害に対するナノ粒子点眼の効果

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地
TEL : 0465-32-7526
FAX : 0465-32-1177
ホームページ : www.rfeda.or.jp/
理事長 佐伯宏三

学会告知板

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
2024 年度「研究助成」応募のご案内

財団法人 高齢者眼疾患研究財団は 1993 年に、高齢者の視力障害をきたす疾患に関する調査・研究・国際協力等を行い、国民の健康の増進および眼科学の進歩に寄与することを目的に設立しました。

その後 2013 年に、内閣総理大臣の認定を受け、公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団となりました。

当財団は活動の一環として、「悪性糖尿病網膜症等高齢者の視力障害をきたす疾患の予防および治療に関する調査研究」に対し下記の要件にて研究助成を実施しております。

対 象 ●悪性糖尿病網膜症等高齢者の視力障害をきたす疾患の予防および治療に関する調査研究(個人研究、共同研究可)

資 格 ●応募者の職務は常勤が望ましい

研究期間 ●2025 年 4 月から 2026 年 3 月までに完結見込みの研究

助成金額 ●1 件 100 万円

締め切り ●2024 年 12 月 15 日 必着

応募方法 ●申請書等用紙は、返信用封筒(210 円切手貼付)を同封のうえ、本財団に請求すること
※申請書をデータで請求する場合、本財団ホームページ(www.rfeda.or.jp/)の研究助成事業よりダウンロードすること

応募書類請求先/送付先 ●公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地
佐伯眼科クリニック内 事務局：医師 佐藤貴子
TEL：0465-32-7526
FAX：0465-32-1177

選考方法 ●高齢者眼疾患研究財団助成選考委員会の審査に基づいて理事会で決定する。結果は 2025 年 2 月末以降に、研究代表者に連絡する

助成金の交付 ●助成決定者に対し、2025 年 3 月以降に交付する

研究結果発表 ●研究終了 1 年以内に研究実績報告書を提出すること
※研究成果を学術雑誌に発表する際には、高齢者眼疾患研究財団の研究助成を受けていることを明示すること

その他 ●助成対象事業に係る収入および支出を明らかにした帳簿(証拠書類を含む)を備えること

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地
TEL：0465-32-7526
FAX：0465-32-1177
ホームページ：www.rfeda.or.jp/
理事長 佐伯宏三

第 80 回日本弱視斜視学会総会 第 49 回日本小児眼科学会総会 合同学会

会 期 ●2024 年 6 月 14 日(金)・15 日(土)

会 場 ●アクトシティ浜松

〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町 111-1

会 長 ●第 80 回日本弱視斜視学会総会会長：後関利明(国際医療福祉大学熱海病院)

第 49 回日本小児眼科学会総会会長：近藤峰生(三重大学大学院医学系研究科眼科学)

プログラム ●第 80 回日本弱視斜視学会総会

特別講演(座長：後関利明)

「Strabismus Caused By Pathology of the Orbital Pulley System」

演者：Joseph L. Demer(University of California)

シンポジウム 1『眼窩への架け橋-Orbital Pulley System with Sagging Eye Syndrome-』

オーガナイザー：長谷部 聡(川崎医大・眼科学 2)，後関利明

シンポジウム 2『多施設共同研究～最近の成果を共有する～』

オーガナイザー：仁科幸子(国立成育医療研究センター)，三木淳司(川崎医大)

視能訓練士プログラム『褒められる検査 私が MVP』

座長：尾内宏美(国際医療福祉大・熱海)，高橋慎也(小沢眼科内科病院)

第 49 回日本小児眼科学会総会

特別講演(座長：近藤峰生)

「ゲノム医療をめざして～小児の網膜ジストロフィーの研究と臨床～」

演者：堀田喜裕(浜松医大)

シンポジウム 1『小児のぶどう膜炎と後眼部疾患』

オーガナイザー：日下俊次(近畿大)，園田康平(九州大)

シンポジウム 2『小児の前眼部疾患と緑内障』

オーガナイザー：外園千恵(京都府医大)，井上俊洋(熊本大)

第 80 回日本弱視斜視学会総会・第 49 回日本小児眼科学会総会 合同学会

日本弱視斜視学会・日本小児眼科学会 合同講習会

『0 歳から 100 歳までの斜視』

座長：根岸貴志(順天大)，若山曉美(近畿大)

一般演題(口演)，ランチョンセミナー，モーニングセミナー，イブニングセミナー，
器械展示・書籍展示

※詳細は，学会ホームページ(<https://convention.jtbcom.co.jp/jasa-japo2024/>)の
「プログラム」ページにてご案内いたします。

参加登録 ●詳細は，学会ホームページの「参加登録」ページにてご案内いたします。

運営事務局 ●株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

事業共創部 コンベンション第二事業局

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階

e-mail：jasa-japo2024@jtbcom.co.jp / Tel：06-4964-8869

HP：https://convention.jtbcom.co.jp/jasa-japo2024/

学会告知板

第36回近畿神経眼科セミナーのご案内

日時●2024年7月14日(日) 9:20~16:00〔ハイブリッド開催〕

会場●ホテルフクラシア大阪ベイ 1階 講堂

〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-7-50 Tel: 06-6614-8711

*昼食が必要な方には2,000円で用意させていただきます。

Web: Zoom ウェビナー開催(<https://x.gd/fBaFt>)



会費●無料

プログラム●9:25~10:50 ミニ教育セミナー I

「眼部带状疱疹による眼窩先端部症候群が疑われた1例」

座長: 大久保真司(おおくぼ眼科クリニック/金沢大学)・演者: 松下 愛(和歌山県立医科大学)

「うっ血乳頭が疑われた梅毒性視神経炎」

座長: 國吉一樹(近畿大学)・演者: 西川優子(大阪医科薬科大学)

「Intrapapillary hemorrhage with adjacent peripapillary subretinal hemorrhage (IHAPSH) の症例提示および光干渉断層計所見に関する考察」

座長: 岡田由香(和歌山県立医科大学附属病院紀北分院)・演者: 竹本大輔(金沢大学)

「動脈炎性前部虚血性視神経症の診断」

座長: 三村 治(兵庫医科大学)・演者: 板倉友紀子(京都大学/京都桂病院)

10:50~11:40 特別講演 I 「視覚入力を失った脳視覚野における機能特性」

座長: 中村 誠(神戸大学)・演者: 増田洋一郎(東京慈恵会医科大学)

12:40~13:40 日本神経眼科学会認定講習会

座長: 不二門 尚(大阪大学)・演者: 奥 英弘(大阪医科薬科大学)

13:40~15:00 ミニ教育セミナー II

「視神経炎の背後に隠れる鍵: 適切な後療法を目指して」

座長: 須田謙史(京都大学)・演者: 盛 崇太郎(神戸大学)

「最近経験したミトコンドリア病について」

座長: 増田明子(兵庫医科大学)・演者: 田村佳菜子(近畿大学)

「病源性自己抗体陰性の眼筋型筋無力症の臨床的特徴」

座長: 菅澤 淳(大阪医科薬科大学)・演者: 後藤拓磨(八鹿病院/兵庫医科大学)

「眼窩腫瘍の考え方と対処法」

座長: 安積 淳(神戸海星病院)・演者: 北口善之(大阪大学)

15:00~15:50 特別講演 II 「視野障害と自動車運転~『運転外来』から学ぶこと~」

座長: 松下賢治(大阪大学)・演者: 國松志保(西葛西・井上眼科病院)

・演題募集はございません。

・生涯教育認定事業ではありません。

事務局●大阪大学医学部眼科学教室 連絡事務局〔担当: 松下賢治〕

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

Tel: 06-6879-3456 / Fax: 06-6879-3458

問い合わせ先●千寿製薬株式会社 大阪第一グループ〔担当: 中村寿雄〕

〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-1-9

Fax: 06-6226-0803 / e-mail: toshio-nakamura@senju.co.jp

共催●近畿神経眼科セミナー 千寿製薬株式会社

第25回日本ロービジョン学会学術総会

日時 ●2024年5月24日(金)～26日(日)

場所 ●埼玉会館(埼玉県さいたま市, JR浦和駅西口より徒歩6分)

テーマ ●広い視野で連携力を高めよう!

会長 ●清水朋美(国立障害者リハビリテーションセンター病院第二診療部長)

副会長 ●高野俊之(埼玉県眼科医会, 会長)

名誉会長 ●水木信久(横浜市立大学大学院医学研究科視覚器病態学, 教授)

プログラム ●特別講演1「ロービジョンが高齢者のQOLに及ぼす影響(仮)」

渡辺修一郎(桜美林大学大学院国際学術研究科国際学術専攻)

特別講演2「リハビリテーション医療での多職種連携(仮)」

芳賀信彦(国立障害者リハビリテーションセンター, 総長)

日本ロービジョン学会25周年記念特別教育講演「『ロービジョン連携手帳』ができるまで～日本ロービジョン学会25年の歴史とともに～」

永井春彦(勤医協札幌病院眼科)

シンポジウム1「リハビリテーション医療との連携」

シンポジウム2「パラスポーツとの連携」

シンポジウム3「産学・工学との連携」

シンポジウム4「介護従事者との連携」

シンポジウム5「産業保健との連携」

まなび塾1「地域学童と一緒に勉強! ロービジョンってなんだろう?(仮)」

まなび塾2「発達障害を知ろう!」

まなび塾3「患者さんへの説明と同意を考えよう!」

参加登録 ●詳細はホームページでご確認ください。

ホームページ ●<https://www.gressco.jp/lowvision2024/index.html>

運営事務局 ●第25回ロービジョン学会学術総会 運営事務局

株式会社グレス コンベンション事業部

〒105-0012 東京都港区芝大門1-16-4 第二高山ビル6階

e-mail: lowvision2024@gressco.jp

学 会 告 知 板**第 13 回日本視野画像学会学術集会**

会 期 ●2024 年 6 月 1 日(土)～2 日(日)

会 場 ●朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

〒 950-0078 新潟県新潟市中央区万代島 6-1

Tel : 025-246-8400

会 長 ●福地健郎(新潟大学大学院医歯学総合研究科 眼科学分野, 教授)

テーマ ●FUSION

プログラム ●JIPS レクチャー「視野の探訪」

演者: 篠田 啓(埼玉医科大学)

シンポジウム 1「FUSION: AI による視野・画像研究の最前線」

オーガナイザー: 安川 力(名古屋市立大学)・朝岡 亮(聖隷浜松病院)

シンポジウム 2「FUSION: 網膜硝子体疾患の imaging, 進歩と臨床への応用」

オーガナイザー: 岡本史樹(日本医科大学)・寺島浩子(新潟大学)

シンポジウム 3「FUSION: 視神経疾患における構造と機能」

オーガナイザー: 三木淳司(川崎医科大学)・赤木忠道(新潟大学)

特別セッション「FUSION: 視野と運転(仮)」

オーガナイザー: 国松志保(西葛西・井上眼科病院)・岩瀬愛子(たじみ岩瀬眼科)

JIPS コーチングセミナー「医師の目の付け所, 視能訓練士の腕の見せ所」

オーガナイザー: 石川 均(北里大学・医療衛生学部)・前田史篤(新潟医療福祉大学)

一般演題(口演), 企業共催シンポジウム, ランチョンセミナー, モーニングセミナー,
アフタヌーンセミナー, 器械展示, 書籍展示

参加登録 ●詳細は第 13 回日本視野画像学会学術集会ホームページ(<https://shinsen-mc.co.jp/13jips/index.html>)にてご確認ください。

お問い合わせ先 ●第 13 回日本視野画像学会学術集会 運営事務局

株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内

Tel : 025-278-7232 / Fax : 025-278-7285 / e-mail : 13jips@shinsen-mc.co.jp

第 22 回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー案内

—弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ—

「弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報—その 7—」

期 日 ● 2025 年 2 月 15 日(土) 14:45~18:15

会 場 ● 千里ライフサイエンスセンター 山村雄一記念ライフホール

北大阪急行電鉄(地下鉄御堂筋線)千里中央駅 北改札口 1 分

講 演 ● 1. 軽度から中等度近視の後天共同性内斜視

稗田 牧(京都府立医科大学)

2. 「視覚はよみがえる—三次元のクオリアー」から考える両眼視訓練

雲井弥生(淀川キリスト教病院)

3. クリニックでの上下斜視

木村亜紀子(やさしい目のクリニック)

4. “私はこう治療する”—会員による症例検討会(仮)

森本 壮(大阪大学)

5. ワークショップ: レチノスコピー

全メンバー(下記)

登録料 ● 医師 3,000 円, 非医師 1,000 円

主 催 ● 近畿弱視斜視研究会

(遠藤高生, 不二門 尚, 木村亜紀子, 雲井弥生, 初川嘉一, 稗田 牧, 三宅三平, 宮田 学, 森本 壮, 村木早苗, 増田明子, 野村耕治, 佐々本研二, 白井久美, 下條裕史, 杉山能子, 菅澤 淳, 近江正俊, 築留英之, 内海 隆, 横山 連)

参天製薬株式会社

事務局 ● 森本 壮(大阪大学眼科)

問い合わせ窓口 ● 加藤大貴(参天製薬株式会社) Tel: 0120-310-106 / e-mail: daiki.kato@santen.com

学 会 告 知 板**第 57 回眼科臨床病理組織研究会
(第 94 回九州眼科学会 内)**

日 時 ●2024 年 5 月 25 日(土) 9:30~12:00(予定)

会 場 ●熊本城ホール

「第 57 回眼科臨床病理組織研究会」は、「第 94 回九州眼科学会」内のセッションとして開催いたします。

なお、参加にあたりましては、九州眼科学会への参加登録が必要となります。参加登録は「第 94 回九州眼科学会」の HP よりお願いいたします。

詳細につきましては、日本眼病理研究会事務局にお問い合わせください。

連絡先 ●日本眼病理研究会事務局

〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

九州大学眼科

担当 吉川：yossykp@mac.com

沖崎：okizaki.fumie.435@m.kyushu-u.ac.jp

Tel：092-642-5648 / Fax：092-642-5663